

平成31年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教科名	情 報
科目名	情 報 の 科 学
単 位 数	2
必修選択区分	必 修
使用教科書	実教出版 最新情報の科学
使用副教材	なし

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	我々の生活を支えている情報技術の基本的な仕組み(コンピュータ内の数値や文字の表し方、音や画像の表し方など)について理解させる。 著作権や産業財産権などの知的財産権を学習し、守るべきルールについて理解させる。
	2 学期	ネットワークの仕組みや必要なセキュリティについて理解させる。 アルゴリズムやプログラミング、シミュレーションなどの方法を通して、問題解決の方法について理解させる。
	3 学期	問題解決に必要な情報の収集方法について理解させる。 総合実習(問題解決実習)を通し、これまで学習した事柄を総合的に理解させる。
担当者からのコメント	実習課題やレポート課題なども多く課し、評価の重要な観点となるため、期限を守って確実に提出すること。	

成績評価	観 点	<ul style="list-style-type: none"> 情報の授業に積極的に参加し、指示された提出物を期限までにしかるべき内容で提出できたか。 情報技術の仕組みや、コンピュータの活用方法が身に付いたか。 知的財産権に関する知識を理解し、自ら考察することができたか。 情報整理、分析する力、問題解決力が身に付いたか。
	方 法	定期考査の成績と実習課題や提出物の内容及び提出状況、出席状況、学習態度などを考慮して総合的に評価する。

授 業 計 画	学 期	時 間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	情報社会と私たち デジタル化の特徴、仕組み、論理演算や論理回路
期末		12	音、画像などのデジタル化 知的財産権	
2 学期	中間	14	ネットワークの仕組み 情報セキュリティ	
	期末	14	問題解決とその方法 アルゴリズムやプログラミング、シミュレーション	
3 学期	学 年 末	18	情報の収集 問題解決の総合実習	